

方言の違い

秋山 由貴 蜂谷 麻奈美 星島 菜摘 宮崎 七海

要旨

日々我々が耳にする方言は地域ごとに大きく異なっている。特定の物の名称ですらいくつものパターンがある。本校生徒（岡山県出身）を対象とした「かたつむり」の呼び方についてのアンケートを行った。その結果、「でんでん」という呼び方が最も多いことが明らかになった。

キーワード：方言，かたつむり，岡山

1 序論

我々の住む岡山県では、地域によって言葉が異なっている。それを、一言で「方言」とすることもあれば、「地域性の違い」とすることもできる。これら二つは似て非なるものである。本研究では、後者の「地域性の違い」という観点から調査することになった。まず、さまざまな呼び方のある言葉を二年生全体でアンケートを行い、どの呼び方を使ったことがあるのかを明らかにした。続いて、アンケートで記入してもらった者の出身地域を元に、どの地域でどの呼び方が多いのかを分析することによって、地域性の違いを探った。

2 質問紙調査

備中方言である以下の四つの言葉を例に挙げた。表1のように、「かたつむり」という言葉をいくつかの呼び方に分けて、二年生全員に見てもらい、その中で聞いたこと、使ったことがある言葉に丸印をつけてもらった。

表1 質問用紙

標準語	方言			
かたつむり	でんでん		まいまい	まいまいつぶり
	ででしごー			

アンケートの結果、それぞれの言葉、地域について表2のような結果を得た。枠内は丸印をつけた人数を示している。(複数回答あり)ただし、人数の多い地域をピックアップしたものである。

表2 調査から得られた結果

	でんでん	まいまい	まいまいつぶり	ででしごー
児島	20人	12人	4人	0人
早島	12人	6人	0人	0人
水島	10人	5人	2人	0人
岡山市	10人	7人	3人	0人

表2の結果、「かたつむり」という言葉に共通したものは、どの地域でも「でんでん」という呼び方が多かったが、「ででしごー」という呼び方はほとんど見受けられなかった。聞いたことのない言葉だったが、児島地域の呼び方だったので挙げてみた。しかし回答者は一人もいなかった。この結果から現在では使われていない可能性が高いことがうかがえる。

3 仮説の設定と検証

(1) 仮説の設定

呼び方の違いの要因が何によるものか次の仮説を設定し、各地域の共通している部分を見つけてることにより検証することを試みた。

【仮説】 かたつむりは地域によって呼び方が違うが他にも童謡になっているくらいなので「でんでん」という呼び方が多い。

(2) 検証方法

表1に記載した「かたつむり」の呼び方について、それぞれ次のように言葉を調べその割合を算出した。

【方法1】 地域ごとに分けて割合を算出する。

(3) 結果

方法1により、地域別とに割合を算出したところ次の図1の結果を得た。概ね仮説のとおり結果となっている。

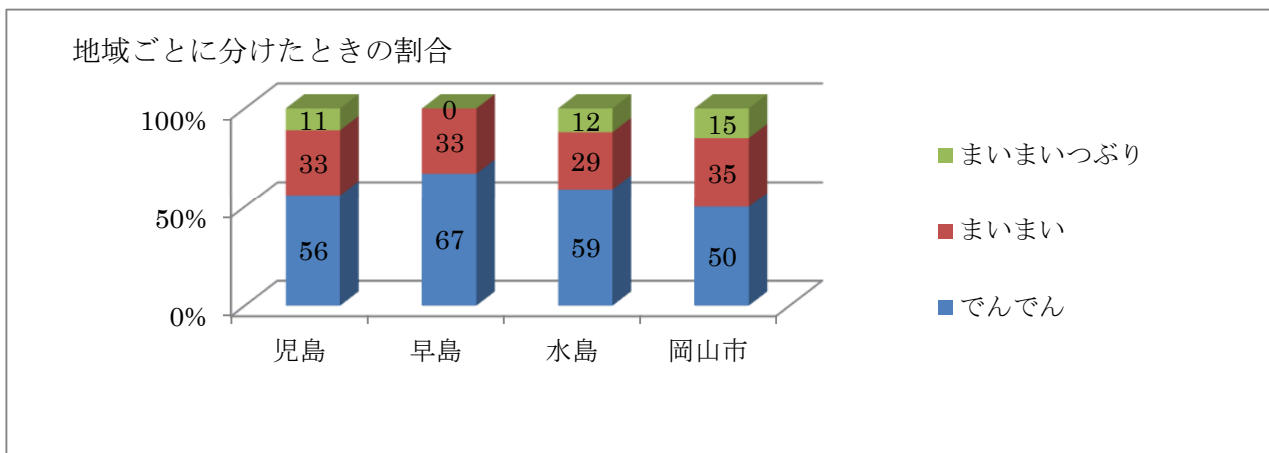


図1 方法1の結果

4 結論

「かたつむり」という言葉に対して「でんでん」と「まいまい」という呼び方に比較的親しみを持っていることが明らかになった。これは、同じ岡山県の中でも備中地域に住む人々の回答の割合が多いことと、童謡として昔から親しまれていることが要因の一つとして考えられる。

「かたつむり」の他の呼び方は多くあるが、昔からその地で根付いてきた文化のもとでもそれらは受け継がれているので、これからも地域に根ざした文化を守り受け継いでいくことを提案する。

*謝辞

本研究にあたっては、アドバイザーとしてご指導いただいた岡山県立倉敷天城高等学校の阪田俊介先生に感謝いたします。

【参考文献】

・ 虫明吉次郎：岡山弁あれこれ，研文館吉田書店(1982)